

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 僧帽弁位感染性心内膜炎における弁形成術の長期予後

[研究責任者] 心臓血管外科 江田匡仁

[研究の背景]

感染性心内膜炎の外科的治療は、感染巣の完全搔爬^{そうは}(体腔内の組織を掻き出すこと)と、弁機能の保持、再建が必要となります。感染巣の搔爬を徹底的に行うことで、感染の制御はより高くなるものの、自己弁での機能保持が困難になります。

当院では超音波吸引破碎装置 ソノペットにて感染巣を搔爬しており、摘除範囲は極めて小さいです。短期の成績が問題ないことは、患者さんの退院までの経過あるいは術後外来での経過観察で確認されていましたが、さらに長期のまとまった Data で確認していくことで、本法の妥当性を評価します。

[研究の目的]

僧帽弁位感染性心内膜炎の当院での手術法が妥当かどうか検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

感染性心内膜炎の患者さんで、西暦 2009 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に僧帽弁形成術を受けた方

●研究期間:西暦 2022 年 9 月 22 日から西暦 2023 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報:

年齢、性別、血液検査結果、血液培養結果、心臓エコー検査、手術記録、心電図検査。

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されます

が、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である江田匡仁が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

心臓血管外科 江田 匡仁

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913